

■コメント

1. インフルエンザ

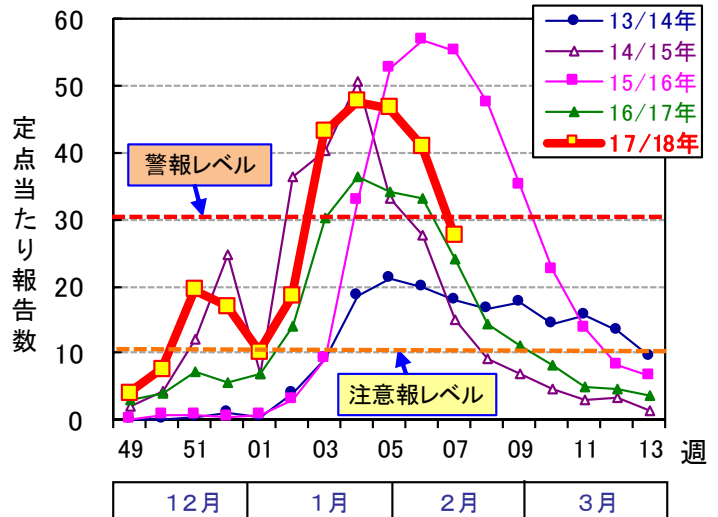
定点当たり27.8人と前週よりやや減少し、警報レベル(注1)を下回りました。流行のピークは過ぎたと考えられますが、まだ注意報レベル(注2)を超えています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第7週に31件発生し、依然として報告が続いているため、引き続き健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を徹底しましょう。

なお、第7週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が91人、B型陽性が346人報告されています。(次頁参照)

2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.58人の報告がありました。また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎が、基幹定点から4週続けて報告されています。

インフルエンザの流行状況



(注1) 警報レベル: 定点当たり30.0人

(注2) 注意報レベル: 定点当たり10.0人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	1030	27.84	27.60	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.52	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.35		小児科	RSウイルス感染症	11	0.46	0.29	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.42	2.19	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	182	7.58	7.00	⇒	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.43	
	水痘	3	0.13	0.62		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.27		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.31		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	3	0.13	0.30		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.43		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	⇒	⇐	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	⇨	⇩	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	17	女性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・推定感染地域: 国外・1人、男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(80歳代)・1人
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(40歳代)・エイズ
5	梅毒	1	15	男性(30歳代)
5	百日咳	1	2	女性(10歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタ ウイルス) 感染性 胃腸炎
報告数	第3週	1,600	7	57	172	8	4	3	6	—	4	12	—	6	—	—	1	—	—
	第4週	1,764	8	50	168	10	2	1	8	2	2	7	—	5	—	—	—	—	7
	第5週	1,732	1	56	148	6	8	1	3	1	—	10	—	3	—	—	—	—	2
	第6週	1,520	—	57	187	5	7	—	7	1	2	7	—	5	—	—	—	—	5
	第7週	1,030	3	58	182	3	2	—	3	—	—	11	—	3	—	—	—	—	3
定点 当たり	第3週	43.24	0.29	2.38	7.17	0.33	0.17	0.13	0.25	—	0.17	0.50	—	0.75	—	—	0.14	—	—
	第4週	47.68	0.33	2.08	7.00	0.42	0.08	0.04	0.33	0.08	0.08	0.29	—	0.63	—	—	—	—	1.00
	第5週	46.81	0.04	2.33	6.17	0.25	0.33	0.04	0.13	0.04	—	0.42	—	0.38	—	—	—	—	0.29
	第6週	41.08	—	2.38	7.79	0.21	0.29	—	0.29	0.04	0.08	0.29	—	0.63	—	—	—	—	0.71
	第7週	27.84	0.13	2.42	7.58	0.13	0.08	—	0.13	—	—	0.46	—	0.38	—	—	—	—	0.43
全国	第5週	54.33	0.31	2.61	5.11	0.25	0.18	0.07	0.30	0.02	0.15	0.45	0.02	0.64	0.03	0.01	0.15	0.01	0.08
	第6週	45.38	0.28	2.63	4.72	0.23	0.15	0.06	0.30	0.02	0.14	0.40	0.01	0.59	0.02	0.03	0.18	—	0.12

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

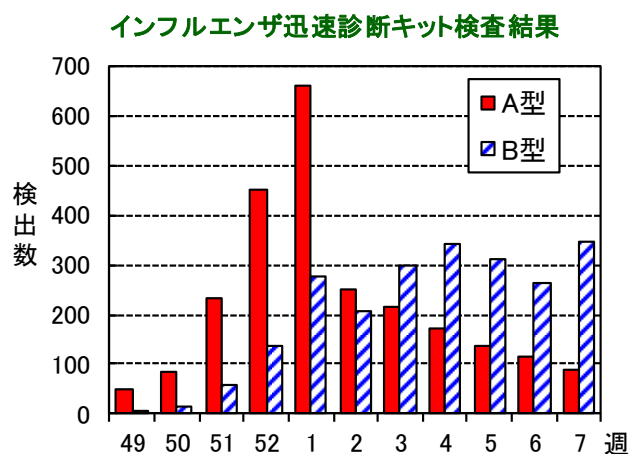
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6) 鼻炎	2	女	2018/01/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の疾患	発熱(37.6) 項部硬直 意識障害	3	女	2018/01/04	尿	サイトメガロウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における今シーズン(注1)のインフルエンザウイルス検査状況



基幹病院2か所における迅速診断キットのインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計(第7週現在)は、A型陽性が2,550人、B型陽性が2,268人となっています。第3週以降はB型の割合がA型より多くなっており、第7週はB型が79.2%を占めています。

なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注2)の結果では、今シーズンは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型が15件、インフルエンザウイルスA(H3)型が3件、インフルエンザウイルスB型(山形系統)が9件検出されています(2月18日現在速報値)。

(注1) 期間は、2017年第36週～2018年第35週です。

(注2) 感染症発生動向調査における病原体定点等において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況については、国立感染症研究所HP「インフルエンザウイルス分離・検出速報」にてご確認ください。(URL: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第7週(2月12日～2月18日)